

頚椎の手術(16日間)を受けられる

説明医師

P 1 / 3

様へ

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日	手術当日	術後1日目	2日目	3日目
目標	心身ともに安定した状態で手術を受けることができる		歩行できる		
検査	手術に必要な検査は終わっています		採血を行います		採血を行います
食事	21時以降は飲食できません	飲食できません 	朝より常食が始まります		
	朝食は自宅 				
処置・観察	理髪室で散髪を行います(日曜入院は除く) リストバンドを装着します(退院日まで装着します) 体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります	手術部位のマーキングをします 手術後、翌朝まで酸素吸入をします 尿の管が入ります	機能評価(知覚検査)があります 疼痛の自己評価をします(退院まで)	尿管を取ります	創管理開始(火・木・土曜日) ドレーン抜去します(状態により早くなる場合があります)
	持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください	手術が午後の場合は点滴を行います 手術後翌朝まで点滴を3本行います 抗生物質の点滴を1回行います	抗生物質の点滴を朝行った後チューブを抜きます 鎮痛剤の内服が始まります		
行動	制限はありません シャワーできます	看護師の介助で寝返りできます ベッド上で安静にします 手術後、尿の管が入っています	ベッド上で座れます 体を拭いて着替えをします(タオルが2枚必要です)	室内トイレまで歩けます	* 安静度やリハビリの進行には個人差がありますので多少の変更があります
	院内の理髪店で手術部位の散髪してもらいます			歩行器を使って歩行を始めます(病棟内)	
説明	医師より説明 ・手術について 麻酔科医より説明 ・麻酔について 看護師より説明 ・入院生活について 薬剤師より説明 ・内服薬について	医師より説明(ご家族様に) ・手術結果について	医師より説明(本人に) ・手術結果について		

*** 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
 * この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	～ 月 日	月 日
経過	4 日目	5 日目	6 日目	1 週目 (7 日目)	～ 13 日目	14 日目 午前退院
目標	歩行できる			日常生活の注意点が理解でき実施できる 頰椎カラーの装着が正しく行える		
検査				レントゲン検査と採血を行います	採血を行います	
食事						
処置・観察	創管理 (火・木・土曜日) ドレーン抜去します (状態により早くなる場合があります) 体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります			経過がよければ半分だけ抜糸します (8 日目) 機能評価(知覚検査)を行います	ガーゼを取ります 経過が良ければ残りの抜糸をします (10 日目) 機能評価を行います	退院時にリストバンドを外します
点滴・内服	鎮痛剤の内服があります				手術後 2 週間で内服薬は中止です	
行動	許可があればシャワーができます	病院内を歩けます		カラーの着脱が自分でできるよう練習します		
	* 安静度やリハビリの進行には個人差がありますので多少の変更があります					
	歩行器を使って歩行を始めます (病棟内)					
説明				医師より説明 ・退院後の生活について	看護師より説明 ・退院後について	医師より説明 ・退院後の診察について 看護師より説明 ・退院後について 次回受診予約 月 日

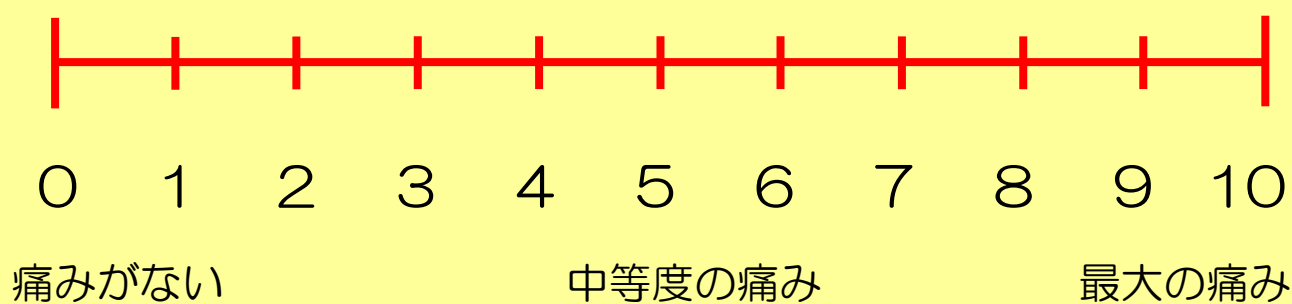
手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

👉 **手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください**

10 を最大の痛みとした場合
今の痛みはどのあたりですか



APS チームがサポートします。

よろしくお願いします。

